

## 瀬戸市国民健康保険運営協議会議事録

開催日 令和4年8月8日 月曜日  
開催場所 書面会議  
出席者 会長 小林甲一  
(12名) 副会長 田邊美千代  
委員 堀谷幸敏、高島八十三、服部富久美、廣瀬直明、  
青山貴彦、水谷幸恵、山田英夫、近藤康博、  
伊藤勉、樋渡とも子

会議の事務に従事した職員 健康福祉部 部長 中桐章裕  
国保年金課 課長 横井達巳 課長補佐 小林明美  
専門員 小池真須巳 専門員 佐野伸二  
給付係長 梶田亜由美 保険料係長 榎本進一  
給付係保健師 奥野ひふみ

傍聴者 0名

(発言者) 議 事 内 容

### 1 報告事項

- (1) 瀬戸市国民健康保険運営協議会（令和4年2月開催）における答申について
- (2) 令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて
- (3) 令和4年度瀬戸市国民健康保険料の本算定料率等について
- (4) 瀬戸市国民健康保険保健事業の報告及び今後の取り組みについて
- (5) 新型コロナウイルス感染症に係る保険料の減免及び傷病手当金について

< 1 報告事項 委員からの書面による意見、質問等 なし >

### 2 その他

< 2 その他 委員からの書面による意見、質問等 >

(委員)

・紙面会議の難点は、説明を直接聞けないことです。内容を理解するのはとても困難です。質問どころではありません。委員として名前を出していただいているのに申しわけなく思います。次回は是非開催されることを期待します。事前のレクチャーがあるとありがたいです。

(委員)

・本年度初めて委員になったこともあり、会議書面を読み解くことが難しかったです。対面でお話を聞けばもう少しわかりやすいかもしれません。

(事務局)

今後、基本的な感染対策をした対面開催とすることを優先としながら、やむを得ず書面開催になった場合においては、個別のレクチャーについては、時間的制約等あることから、より分かりやすい会議資料の作成に努めてまいります。

(委員)

・資料から、瀬戸市の一人当たりの医療費が、県内他市に比べて高額であることを初めて知りました。なぜ高額になっているのか、もう少し分析された結果を知りたいと思いました。

(事務局)

一人当たり医療費が相対的に高くなる要因にはいろいろありますが、最も明快なのは高齢化です。本市は被保険者の約50%が65歳以上の加入者であり、高齢化率が県下38市中4番目に高い状況ですので、これが本市の一人当たり医療費を押し上げていることは明らかです。ただし、これは、今後の人口構成の推移によって落ち着いてくるものと考えられます。

疾病構造も大きな要因の1つです。本市では、これも高齢化によるところが大きいですが、生活習慣病に関係する疾病として「がん」の割合が高く、「がん」は他の疾病と比べて高い医療費を必要とします。ですから、これも、結果として一人当たり医療費を高くすることになります。ただし、これも、高齢化の状況が落ち着けば緩和されていくと期待されます。

明確な分析結果で検証されているわけではないですが、本市の地域医療提供体制がさまざまな医療機関にアクセスしやすい状況にあることが被保険者の受療行動や受診率にプラス作用を及ぼしていることが遠因ではないかと言われています。周知のように、本市には、市内の便利なところに高度急性期病院があり、周辺には中規模病院も多くあり、まちなかにも比較的多くの診療所やクリニックがあります。また、尾張東部の医療圏は大学病院も充実しています。しかし、言うまでもないことですが、こうした恵まれた環境をマイナスに捉えるのではなく、予防的な行動や対策に積極的に取り組んだり、医療サービスにアクセスしやすいことを生かして、生活習慣病の重症化リスクを軽減することが大切だと思われま